

(写)

総 第 47 号

令和4年5月26日

妙高市議会議長 佐藤 栄一 様

妙高市長 入村 明

妙高ふるさと振興株式会社令和4年度事業計画並びに  
令和3年度事業にかかる決算について

妙高ふるさと振興株式会社の令和4年度事業計画並びに令和3年度事業にかかる決算について、  
地方自治法第243条の3第2項の規定により報告いたします。

## 令和4年度 妙高ふるさと振興株式会社 事業計画書

### <事業計画>

「道の駅あらい」は8月に開業22周年を迎えますが、この間、県内外から多くの方々にご利用いただいております。

従来のエリアは年数の経過とともに施設、構築物の老朽化も見られますが、妙高市、国土交通省等関係機関のご協力を得ながら、良好な維持管理に努めてまいります。

また、拡張エリアにおいては芝生広場やバーベキュー施設などの屋外施設が好評なことから、さらなる利用促進に努めます。

弊社所有地に出店する物産センターや飲食店等の民間商業施設においては、集客の状況が店舗の経営を左右することから、新型コロナウイルス感染症に留意しながら、出店者会と一体となってイベントを開催し、誘客促進を図ります。

指定管理施設は、「くびき野情報館」のほか、一昨年から「四季彩館ひだなん」と「四季彩館みょうこう」の二つの農業振興の管理も担っています。

農業振興施設は両施設とも直売所と食堂施設を備え、パートナー事業者が運営にあたっておりますが、特に拡張エリアの「四季彩館みょうこう」は、経営状況の改善が図れるよう、引き続き運営の支援を行ってまいります。

具体的には、毎月イベントを開催するほか、直売所において妙高市の実証委託事業として、ゴミをださない量り売りなど環境に配慮した販売方法を導入し、他の直売所との差別化により新たな顧客獲得を目指します。

### 【指定管理施設の状況】

施設	(情報発信施設)	(農業振興施設)	
	くびき野情報館	四季彩館ひだなん	四季彩館みょうこう
運営事業者	妙高ふるさと振興 (株)	(株)ひだなん	(株)みょうこう未来 創造商社
契約期間	令和3年度～ 令和11年度	令和2年度～令和11年度	

6次産業化の取り組みでは、ヨモギの試験栽培について、引き続きメーカーと地域の協力を得ながら取り組み、事業化を見極めてまいります。

### <事業展開>

1. 道の駅構内の維持管理
2. 出店者会と連携したイベント開催
3. 「くびき野情報館」の指定管理
4. 「四季彩館ひだなん」、「四季彩館みょうこう」の指定管理
5. 6次産業化（地場産業振興事業）の調査、研究及び実施
6. 特産品の宣伝及び販売
7. 不動産の賃貸借、管理及びその仲介

### <事業収益>

不動産の運用においては、空き店舗が一店舗あるものの、約定通りの地代共益費収入の確保を見込んでおります。

施設管理面では、利用者の安心安全を第一に心がけ、これまで同様に専門業者への外部委託も行いながら、指定管理者として適正管理に努めます。

特産品の販売では、引き続き「ふるさと納税」返礼品の発送や店頭販売などにより、売上確保はもとより、妙高特産品の情報発信など地域振興にも取り組みます。

これら事業収益の柱となるのは不動産収入であり、道の駅あらいの集客が各店舗の安定経営につながることを念頭に、道の駅の情報発信やイベント開催など、集客確保に努めてまいります。

# 令和3年度 妙高ふるさと振興株式会社 事業報告について

## 1. 事業の経過及び実績

### 1) 道の駅あらいの現況

平成12年8月開業の道の駅あらいは、一般道からも高速道からも立寄ることができる立地の良さと、農産物直売所や物産センター、鮮魚センターのほか様々な飲食店が出店し、例年は県内外から多くのお客様にご利用いただいております。

しかしながら、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響による利用者の落ち込みが続き、まん延防止等重点措置の解除された3月中旬からようやく客足が戻りつつある状況です。

### 2) 不動産管理の状況

弊社経営の根幹を成す商業施設の状況ですが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、出店者にとって厳しい経営状況となっています。9月には出店者会より、地代の減免について要望があり、地代一ヶ月分（公設施設は共益費一ヶ月分）の減免措置を行いました。

また、去る3月に飲食店1店舗が閉店し、空店舗が生じました。新たな出店者に土地賃借権が譲渡されるまでの間も地代等が納入されることから、経営面への影響はない見込みです。

### 3) 指定管理施設の管理運営

弊社は、妙高市の指定管理者として「くびき野情報館」のほか、運営事業者と連携して「四季彩館ひだなん」「四季彩館みょうこう」の施設管理を担っています。

#### 【指定管理施設の状況】

施設	(情報発信施設)	(農業振興施設)	
	くびき野情報館	四季彩館ひだなん	四季彩館みょうこう
運営事業者	妙高ふるさと振興(株)	(株)ひだなん	(株)みょうこう未来創造商社
契約期間	令和3年度～ 令和11年度	令和2年度～令和11年度	

#### ①情報発信施設「くびき野情報館」

くびき野情報館は、総合案内所として妙高はじめ近隣の観光情報や道路情報を提供するほか、喫茶営業を行い、休憩所として利用されています。

また、館内の売店では妙高あっぱれ逸品などの特産品販売も行っています。

本年度の入館者数は、前年度比ほぼ横ばいの17万1千人となりましたが、令和元年度比では42%減と大きく減少しています。

館内イベントギャラリーでは例年、様々な展示会等が開催されておりますが、コロナ禍のため、利用はほとんどありませんでした。

#### ②農業振興施設「四季彩館ひだなん」

農産物直売所と食堂を兼ね備えた施設は、昨年度より弊社が指定管理者となり、パートナー事業者である「株式会社ひだなん」が運営にあたっています。

コロナ禍による影響は続いたものの、ひだなんブランドの展開や定期的なDM発送など、売上確保に創意工夫を凝らした一年となりました。

#### ③農業振興施設「四季彩館みょうこう」

国道の東側に一昨年7月にオープンした同施設は、防災拠点に位置付けられ、農産物直売所と食堂のほか、雪室や芝生広場が整備されています。

直売所と食堂部門の運営は、弊社も経営参画した「株式会社みょうこう未来創造商社」がパートナー事業者として運営にあたりましたが、前年度に引き続きコロナ禍や大雪などの影響もあって、厳しい経営状況となりました。

初めての運用となった雪室では、野菜、米、ソバ、日本酒などを貯蔵し、効果を検証しました。また、芝生広場ではバーベキュー区画を設置し、県内外からおよそ30件の利用がありました。

#### 4) 道の駅あらいのPRとイベント開催

コロナ禍の状況も勘案しながら、各種情報誌、ラジオなどの媒体に広告を掲載しました。

また、イベント開催では、6月に当道の駅最大行事である「くびき野縁日」を二年ぶりに開催したほか、出店者会と連携して10月に「ハロウィン&福引き抽選会」、1月には「新春お楽しみ抽選会」、3月には「クーポンまつり」を開催し、集客に努めました。

#### 5) 特産品の販売

特産品の販売では、くびき野情報館において妙高の「あっぱれ逸品」を中心に加工品や手芸品の販売を行いました。

また、「ふるさと納税」返礼品発送業務は、前年度比約10%増のおよそ700

件、220万円の取扱いとなりました。

そのほか、例年は妙高市の友好都市や表参道・新潟館ネスパスなどのイベントに出店し、特産品販売を行っておりますが、昨年度に引き続きコロナ禍のため、すべてが中止となりました。

#### 6) 6次産業化への取り組み

一昨年より大鹿地区におけるヨモギの試験栽培に引き続き取り組みました。まだ試行錯誤が続いていますが、メーカーの協力を得ながら、事業化の道を探っています。

そのほか、障がい者施設に製造委託している妙高産米粉を使ったサブレ「妙高雷菓」の販売では、前年度並みの17万円ほどの販売となり、代金の一部はライチョウ保護に取り組む生命地域妙高環境会議に寄付いたします。

## 2. 令和3年度の経営状況

### 【概要】

税引前当期純利益は約850万円と前年同期と比較し、およそ110万円の減益となりました。法人税、住民税及び事業税を控除した当期純利益は約660万円と、前年同期比約50万円の減益となっています。

利益剰余金の処分としては、前年同期と同額160万円の株式配当を、また400万円の積立を実施いたしました。

### 【収入】

- ・地代収入は、コロナ禍による減免措置を講じたため、前年同期比およそ220万円減額の約2,440万円の収入となり、共益費は一部減免を行ったものの、四季彩館みょうこうが通年営業となった関係で、ほぼ前年同額の約1,530万円の収入となりました。
- ・施設委託等収入は、妙高市からの委託料収入約2,330万円で、新規開業施設「四季彩館みょうこう」が通年営業となったため、管理委託料がおよそ100万円増額の約850万円となったほか、「くびき野情報館」の委託料約1,200万円と除雪費約280万円を加え、総額では前年と比較して約140万円の増額となりました。
- ・商品等売上は、約990万円となり、前年同期と比較しておよそ110万円の増額となりました。これは喫茶の売り上げ減少があったものの、「ふるさと納税」返礼品の受注増や特産品の販売増、自動販売機手数料の増額などによるものです。
- ・商品仕入高は、約340万円と前年同期比約30万円の増額となりましたが、

主に商品の売上げ増加に起因する増額で、売上総利益はほぼ前年並みの約6,960万円となりました。

#### 【支出】

- ・合計で約6,170万円とおよそ110万円の増額となりました。
- ・増額の主なものとして、職員給与では四季彩館みょうこうの通年営業に伴うパート賃金など約80万円の増額、委託管理費では同様にして四季彩館みょうこうの清掃委託費約90万円の増額、二年ぶりに開催したくびき野縁日イベントに係る委託費120万円などが増額となりました。
- ・減額の主なものとして、広告宣伝費では前年度にホームページリニューアルが完了したことなどにより約160万円の減額、委託管理費では除雪費がおよそ40万円の減額、支払手数料では土地賃貸借契約更新件数の減少などに伴い約50万円が減額となっております。

### 3. 道の駅あらいの取組みの方向性や課題

道の駅あらいは、妙高市の情報発信、交流拠点として多くの市民や観光客に利用されています。

しかしながら、ここ二年間はコロナ禍の影響で来場者が落ち込み、出店者もご苦労されましたが、ようやくここへ来て増加傾向が見られることから、一日も早く以前のような活気ある賑わいが戻ることを願っております。

このような状況下ではありますが、様々な店舗が出店する商業施設は当道の駅の特徴であるとともに、弊社の経営にも大きく影響することから、情報発信や出店者会と連携したイベント開催などにより、集客の確保に努めてまいります。

拡張エリアで二年目を迎えた「四季彩館みょうこう」は、今年度もコロナ禍と大雪などの影響で思うような集客ができず、厳しい経営となりました。

来年度は、直売所において従来と異なる販売手法も取り入れるなど、一部のリニューアルを行うほか、イベントを毎月開催し、経営安定化への足掛かりとして参ります。

第 2 4 期

# 決 算 報 告 書

令和 3 年 4 月 1 日 から

令和 4 年 3 月 3 1 日 まで

妙高ふるさと振興株式会社

(法人番号:1110001020209)





# 損益計算書

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月31日まで

商号 妙高ふるさと振興株式会社

(単位：円)

科 目		金 額	
I	売地共 施設 代 益委 設品 上 費託 等 収 収 等 売 高 入 入 上	24,408,576 15,346,521 23,264,467 9,908,365	72,927,929 72,927,929
II	売期 商合 期 売 上 首 品 末 上 棚 仕 棚 総 原 卸 入 卸 利 価 高 高 計 高 益	3,363,881	348,736 3,363,881 3,712,617 416,077 3,296,540 69,631,389
III	販 販 管 売 費 及 業 び 一 般 管 理 費 益 一 般 管 理 費 益		61,710,757 61,710,757 7,920,632
IV	営 受 受 雑 業 取 取 外 配 収 収 利 当 益 息 金 入		2,011 600 601,257 603,868
V	営 管 業 業 外 外 費 費 用 用		0 0
	経 常 利 益		8,524,500
VI	特 特 別 別 利 利 益 益		0 0
VII	特 特 別 別 損 損 失 失		0 0
	税 引 前 当 期 純 利 益		8,524,500
	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,940,600	1,940,600
	当 期 純 利 益		6,583,900

# 株主資本等変動計算書

商号 妙高ふるさと振興株式会社

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

<b>I 株主資本</b>			
1. 資本金	当期首残高		40,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>40,000,000</u>
2. 利益剰余金	当期首残高		10,000,000
(1) 利益準備金	当期変動額		0
	当期末残高		<u>10,000,000</u>
(2) その他利益剰余金	当期首残高		114,000,000
別途積立金	当期変動額		0
	別途積立金の積み立て	4,000,000	4,000,000
	当期末残高		<u>118,000,000</u>
繰越利益剰余金	当期首残高		54,256,761
	当期変動額		0
	別途積立金の積み立て	-4,000,000	-4,000,000
	剰余金の配当	-1,600,000	-1,600,000
	当期純利益	6,583,900	6,583,900
	当期末残高		<u>55,240,661</u>
その他利益剰余金合計	当期首残高		168,256,761
	当期変動額		0
	別途積立金の積み立て	0	0
	剰余金の配当	-1,600,000	-1,600,000
	当期純利益	6,583,900	6,583,900
	当期末残高		<u>173,240,661</u>
株主資本合計	当期首残高		218,256,761
	当期変動額		0
	別途積立金の積み立て	0	0
	剰余金の配当	-1,600,000	-1,600,000
	当期純利益	6,583,900	6,583,900
	当期末残高		<u>223,240,661</u>
<b>II 評価・換算差額等</b>			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
<b>III 新株予約権</b>			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
<b>純資産の部合計</b>			
	当期首残高		218,256,761
	当期変動額		0
	別途積立金の積み立て	0	0
	剰余金の配当	-1,600,000	-1,600,000
	当期純利益	6,583,900	6,583,900
	当期末残高		<u>223,240,661</u>

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
運賃	260,710
広告宣伝費	594,194
会議費	14,041
役員報酬	3,300,000
職員給与	16,922,483
法定福利費	2,556,705
厚生費	448,114
減価償却費	3,001,635
地代	2,896,798
修繕費	954,834
事務用品費	229,347
通信費	1,064,540
水道光熱費	6,147,326
租税公課	2,262,406
接待費	54,673
保険料	352,580
備品費	863,810
委託管理費	16,291,090
諸会費	173,372
リース料	80,352
支払手数料	1,161,040
雑費	2,080,707
合 計	61,710,757

棚卸資産の計算内訳

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商品	416,077
合 計	416,077

## 監査報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第24期事業年度について、取締役が作成した計算書類および事業報告ならびに附属明細書について監査いたしました。その結果につき、以下の通り報告いたします。

### 1. 監査の方法および内容

監査役は、取締役等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等の閲覧および業務ならびに財産の状況を調査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類および事業報告ならびに附属明細書につき検討いたしました。

### 2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表および損益計算書の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表およびこれらの附属明細書は、法令および定款に従い、会社の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているとして認めます。

令和4年4月27日

妙高ふるさと振興株式会社

監査役

飯吉 守



監査役

池田 弘

